

令和4年度 東京都中小企業技能人材育成大賞知事賞 受賞者一覧

賞別	部門	受賞企業(団体)情報	人材育成の概要
大賞	ものづくり部門	社名: 株式会社イチカワ 業種: 産業用電気機械器具製造業 所在地: 羽村市 HP: https://www.ichikawa.co.jp	<ul style="list-style-type: none"> ○社内にIoT化推進室を設立し、IT技術者の育成や、ものづくりをデジタル管理する技術の推進教育に努めている。 ○研究開発することができる実験室を社員に開放し、熟練者と若手が一緒に、技術習得にあたっている。 ○製造現場に3Dプリンターを置き、自由にアイデアを出し合い、現場仕様の治具(補助具)を製作し、活用している。 ○高度な技術を要すると認められた者に授与される「マイクロソルダリング(微細ハンダ付)技術マイスター」を輩出。
優秀賞	ものづくり部門	社名: 京王電化工業株式会社 業種: 金属製品製造業(鍍金業) 所在地: 調布市 HP: https://keio-denka.co.jp	<ul style="list-style-type: none"> ○業界団体が推奨する「東京都鍍金工業組合高等職業訓練校」に週2回社員を派遣している。 ○個々の社員の技術や能力をグラフによりみえる化し、社内で共有することで、人材育成に役立っている。 ○技能検定等の資格取得に向け、有資格者等(東京都優秀技能者知事賞受賞者や、特級鍍金技能士)が講師になり、週1回社内で講習会を実施している。
優秀賞	ものづくり部門	社名: 株式会社武蔵野化学研究所 業種: 有機化学製造業 所在地: 千代田区 HP: https://www.musashino.com	<ul style="list-style-type: none"> ○新人の基本的研修完了後、OJTにより、個々に必要な取得優先技能を把握し、外部技能研修及び実地の技能研修等を行い、熟練者の技能の伝承を行っている。 ○社員に「職能資格等級制度」の内容を公表し、コース別OJT教育や、等級ごとの外部研修や通信教育を実施している。 ○様々な経験を積むため、研究開発職の社員を販売現場や製造現場へ転勤、出張させる等、他部門間の業務ローテーションを定期的に行っている。
奨励賞	ものづくり部門	社名: 株式会社酒井製作所 業種: 機械製造業 所在地: 大田区 HP: https://www.sakaiwork.jp	<ul style="list-style-type: none"> ○若手社員には経験豊富な指導者を付けて、仕事にとどまらず、悩み事相談に応じる他、毎朝、1つのテーマ(事柄や物)を決めて、見て考えて、1分間でどれだけ書き出せるかのトレーニングを実施する等、総合的な指導育成を行っている。 ○社員間の相互理解と連携強化を図るため、あらゆる社員の取り組みを評価出来るよう「社員間の相互評価制度」において、毎月社員投票による月間MVP表彰等を実施している。
奨励賞	ものづくり部門	社名: アベテクノシステム株式会社 業種: 試作製品製造及びセキュリティシステムの開発 所在地: 大田区 HP: https://www.abetechno.com	<ul style="list-style-type: none"> ○社員の適正確認や経験のため、プロジェクトリーダーをローテーションで担当させている。 ○自社で製作しているF1部品が、実際にどのように現場に活かされているかを体感し、モチベーションを高めるため、海外研修を実施した。 ○社員によるアイデア発表会を行い優秀なアイデアは、社内技術を駆使し、研究開発を行い、製品化を行った。
奨励賞	建設・建築部門	社名: 東邦重機開発株式会社 業種: 建設揚重業 所在地: 中野区 HP: https://www.touhoujuki.co.jp	<ul style="list-style-type: none"> ○クレーン運転士を希望する未経験者も積極的に採用し、ベテランの運転士やOB等の指導員を付けて、工事現場のルールやコミュニケーションの重要性等、個々の能力に合わせたきめ細やかな指導を行っている。 ○営業職員(工事現場の管理者)についても、全員移動式クレーンの免許を取得させ、クレーンに対する知識・技能の習得をさせる等、ジョブローテーションを行っている。
奨励賞	建設・建築部門	社名: 株式会社セーフティ&ベル 業種: セキュリティシステム全般の建設設備業 所在地: 品川区 HP: https://www.safety-bell.com	<ul style="list-style-type: none"> ○建設業に経験のない人を一から育てる知識の学び舎として、社内に「弱电アカデミー」と称した研修環境施設を設置している。工事現場で実際に使用する機材等を配備して、現場の疑似環境をつくり、主に知識・スキルの習得研修、振り返り研修、更に社員自らが独自で学べる環境となっている。 ○全社員の特性を分析し、組織の中でのコミュニケーションを高め、相手を思いやる風土づくりを進めるため、エニアグラムを活用した研修を継続実施している。